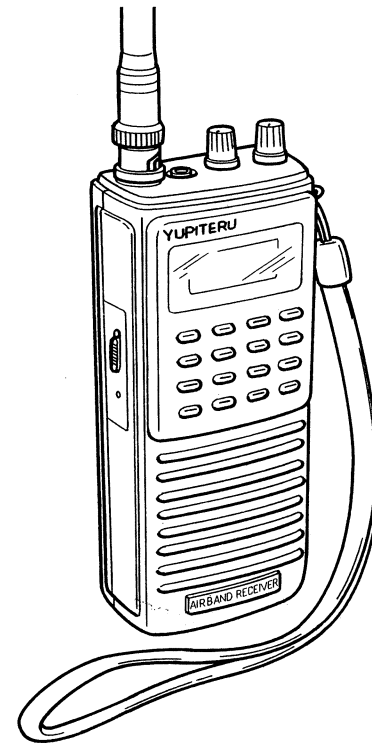


YUPITERU

AIRBAND RECEIVER
VT-125II

取扱説明書



目次

このたびはユピテルエアーバンドレシーバーVT-125II
をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みにな
り、本機を正しくお使いください。
また、この取扱説明書は、保証書、お客様ご相談窓口
一覧とともに、大切に保管してください。
万一ご使用中、本機の操作方法などでわからないとき
には、もう一度お読みください。

主な特長	4	メモリーチャンネルの消去	22
付属品	5	アップキーとダウンキーによるチャンネル送り	23
使用上のご注意	6	メモリースキャンのしかた	23
各部の名称とはたらき	8	スキャンの一時停止と方向指定	24
本体	8	バスメモリーのしかた	24
キーボード	10	サーチ機能について	26
ディスプレイ	13	サーチのしかた	26
キー操作を始める前に	14	サーチの一時停止と方向指定	26
マニュアル受信のしかた	16	ブライオリティ機能について	27
周波数の入力	16	ブライオリティチャンネルの周波数登録	27
入力周波数の訂正	17	ブライオリティ機能の設定と解除	27
周波数ステップの選択	18	その他の機能	28
1ステップ移動と早送り、早戻し	18	バックライト機能	28
メモリーチャンネルについて	19	ディレイ機能	28
チャンネルメモリーのしかた	19	ピープ音の消去	29
メモリーチャンネルの呼び出し	20	アフターサービスについて	30
マニュアルモードへの移動	21	一般仕様	31

主な特長

- マイクロコンピューターによる豊富な受信機能
キーボードの操作により、マニュアル受信、メモリスキャン、サーチ受信など、豊富な受信機能を搭載
- 30チャンネルメモリー機能
任意の周波数を任意のチャンネルに30チャンネルまで登録できます。
- 高速スキャン／サーチ機能
本機のスキャン／サーチスピードは1秒間に約20チャンネル／20ステップと高速です。
- プライオリティ機能
- チャンネルメモリーバス機能
- シグナルメーター
ディスプレイに、受信信号のレベルがわかるシグナルメーターを装備

- 電源／音量調節つまみとスケルチ調整つまみを独立させました。
- 誤動作を防ぐキーロックスイッチ。
- キータッチ音ON/OFF機能
- バックライト機能
ランプキーにより、約5秒間の照明ができます。
- 3電源方式
ニッケルカドミウム電池による携帯使用、ACアダプターによる家庭電源使用、カーコネクターによる車載使用(12V車のみ)ができます。

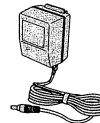
付属品

- フレキシブルアンテナ(1)
- ACアダプター(1)
- カーコネクター(1)
- ニッケルカドミウム電池(内蔵)(3)
- ハンドストラップ(1)
- イヤホン(1)
- 取扱説明書(1)
- 保証書(1)
- お客様ご相談窓口一覧(1)
- ご愛用者カード(1)

フレキシブルアンテナ



ACアダプター



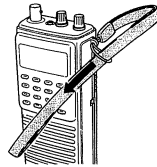
付属のACアダプターは本機専用です。他の機器への転用や他のACアダプターで本機を使用することはできません。

カーコネクター



付属のカーコネクターは12V車シガーライターソケット専用です。24V車での使用や付属品以外のカーコネクターの使用は、故障の原因となりますのでご注意ください。

ハンドストラップ



本体側面の取り付け穴に図のように取り付けます。

お手入れ

本機がよごれたときは、柔らかい布などでふいてください。ポリエステル等の静電気を発しやすいもの、化学雑巾、洗剤は使用しないでください。

お客様が受信した内容は、電波法上、第三者に漏らしたり、行動に移したりすることが禁止されております。

本機は精密電子機器ですので、絶対に分解しないでください。万一、異常や不具合が起きたときは、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社営業所にご相談ください。

アンテナについて

付属のフレキシブルアンテナ以外に、市販のアンテナを接続することもできます。そのときは、受信周波数に合ったアンテナをご使用ください。

また、外部アンテナを使用したとき近くに強い電波があると、混変調を起こすことがありますのでご注意ください。

※上記の理由により、増幅回路付きの外部アンテナ等は使用しないでください。

リセットスイッチについて

ご購入後、初めて使用するときは、必ずリセットスイッチをボールペンの先等で押して、初期状態にしてください。

また、乾電池を使いきってしまった場合、登録した内容をすべて消去する場合、ディスプレイの表示が異常な場合にも同様にリセットスイッチを押してください。

注意

本機は電源／音量調節ツマミをONにした状態での充電はできません。
内蔵のニッケルカドミウム電池は過度放電すると充電ができにくくなるので、早めに充電してください。

また、あまりに長時間の充電は、内蔵のニッケルカドミウム電池の寿命を短くするだけでなく、発熱等の原因にもなりますのでご注意ください。

■市販の単3形アルカリ／マンガン乾電池なども使用できますが、誤って充電すると事故につながります。取り扱いには十分ご注意ください。

■電池交換は、必ず電源／音量調節ツマミをOFFにしてからおこなってください。電源／音量調節ツマミをONにしたまま電池を取りはずすと、登録した内容が失われます。

■初めてご使用になる前に、充電をおこなってください。また、ご使用中ディスプレイにBATT表示がされたときにも、充電が必要です。

置き場所について

■発熱器具・直射日光に当たる場所への放置は故障の原因となりますので避けてください。

■浴室等湿気の多い所での使用は避けてください。

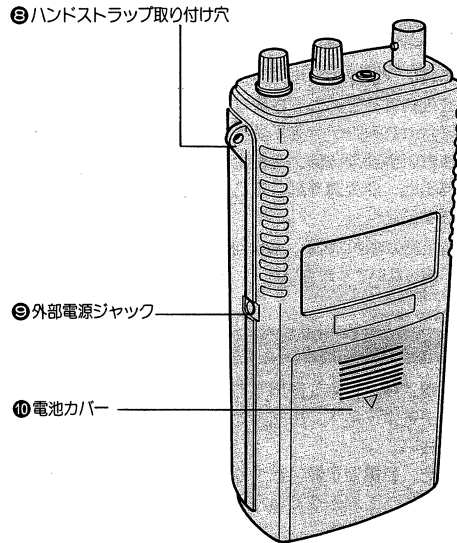
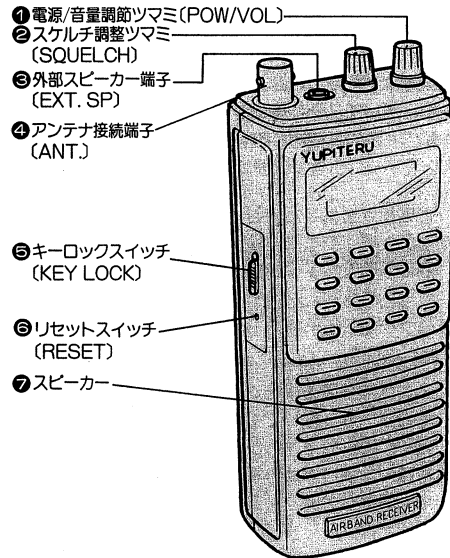
■テレビ・ラジオ等の近くで使用すると、ノイズが入る場合があります。

電池について

■本機は単3形ニッケルカドミウム電池を内蔵しています。付属のACアダプターの使用で家庭用電源(AC100V)から内蔵ニッケルカドミウム電池への充電ができます。

また、カーコネクターを使用することで自動車のシガーライターソケット(12V車のみ)からも充電ができます。充電に際しては、電源／音量調節ツマミをOFFにして約15時間充電してください。

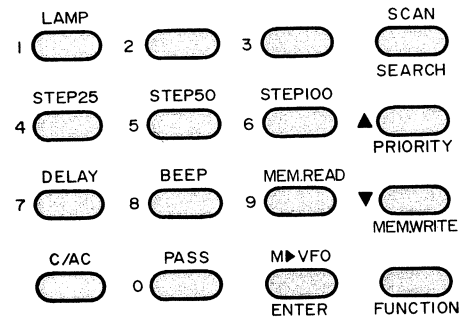
十分に充電されると、通常使用で約10時間の連続動作が可能です。



- ① 電源/音量調節ツマミ(POW/VOL)
右に回すと電源が入り、さらに回すと音量が大きくなります。
- ② スケルチ調整ツマミ(SQUELCH)
無信号時の「ザー」という雑音を消し、受信信号を最良の状態で受信するために使います。
- ③ 外部スピーカー端子(EXT. SP)
外部スピーカーまたはイヤホン用の端子です。この端子に接続されているときは、内蔵スピーカーから音はでません。
- ④ アンテナ接続端子(ANT.)
付属のアンテナを接続する端子です。

- ⑤ キーロックスイッチ(KEY LOCK)
ONにすると前面の各キーの動作が固定されます。持ち運ぶときなどにご使用ください。
- ⑥ リセットスイッチ(RESET)
マイコンを初期状態にするスイッチです。
- ⑦ スピーカー
- ⑧ ハンドストラップ取り付け穴
- ⑨ 外部電源ジャック
付属のACアダプターやカーコネクターを接続すると、電源を取ったり内蔵のニッケルカドミウム電池への充電ができます。
- ⑩ 電池カバー

〔キーボード〕



ダイレクト入力キー

数値キー(1~9,0)

周波数の設定、メモリーチャンネルを設定するときに使います。

クリア/オールクリアキー〔C/AC〕

周波数またはメモリーチャンネルの設定途中で、入力した数値を訂正するときに押します。

1度押しで訂正を受け付ける状態となり、数値キーの訂正ができます。

2度押しでオールクリアとなり、入力内容が取り消されます。

エンターキー〔ENTER〕

受信周波数の設定およびプライオリティチャンネルの登録のときに使用し、このキーが押されることで設定が完了します。

アップキー〔▲〕

- ・周波数、メモリーチャンネルの設定途中で、クリア/オールクリアキーを1度押した後、訂正する数値を指定できます。
- ・マニュアル受信のときに1度押すと、周波数が表示のステップ中で、1ステップ移動します。また、1秒以上押し続けると、その間周波数の早送りとなります。
- ・メモリー呼び出しのときに1度押すとメモリーチャンネルが1チャンネル移動します。また、1秒以上押し続けると、押している間はチャンネル早送りとなります。
- ・メモリスキャンのときには、スキャンの一時停止、スキャン停止中のときは、1チャンネル強制移動キーとしてはたらき、スキャンの方向指定キーにもなります。
- ・サーチのときには、サーチの一時停止、サーチ停止中では周波数の1ステップ強制移動キーとしてはたらき、サーチの方向指定キーにもなります。

各部の名称とはたらき

ダウンキー〔▼〕

アップキーと逆方向のはたらきをします。

スキャンキー〔SCAN〕

あらかじめメモリー登録したチャンネルをスキャンさせるときに押します。

1度押しでスキャンが開始し、もう一度押すとスキャンモードの解除となります。

ファンクションキー〔FUNCTION〕

1つのキーの動作を同色表示の機能に切り替えるときに押します。

ファンクションキーに続けて押すことで動作するキー

ランプキー〔LAMP〕

ディスプレイのバックライトキーです。ランプの点灯時間は、最終キーを押してから5秒間です。

25kHzステップキー〔STEP25〕

サーチ動作、周波数入力するときなど、25kHzステップが選択できます。

50kHzステップキー(STEP50)

サーチ動作、周波数入力するときなど、50kHzステップが選択できます。

100kHzステップキー(STEP100)

サーチ動作、周波数入力するときなど、100kHzステップが選択できます。

ディレイキー(DELAY)

サーチ、メモリスキャンのとき、信号が途切れてから、次の受信局へ移るまでの時間を遅らせるときに使用します。通常は2秒間ですが、ディレイがはたらくと4秒間となります。

ビーブキー(BEEP)

キータッチ音を消すときに使用します。

メモリーリードキー(MEM.READ)

メモリーチャンネルを呼び出すときに使用します。

パスキー(PASS)

すでにメモリー登録してある特定のチャンネルを、スキャンモードからパスするときに使用します。

メモリーVFOキー(M▶VFO)

すでにメモリー登録してある周波数を、マニュアルモードに移すときに使用します。

サーチキー(SEARCH)

目的の周波数がわからないときなど、本機の受信周波数範囲内で自動的に交信局を探すときに使用します。

プライオリティキー(PRIORITY)

プライオリティチャンネル(最優先チャンネル)の登録やプライオリティ機能をはたかせるときに使用します。

メモリーライトキー(MEM.WRITE)

チャンネルメモリーをするときに使用します。また、特定チャンネルのメモリーした内容を消去するときにも使用します。

〔ディスプレイ〕



8888888 : 周波数やメモリーしようとするチャンネルを表示します。また、入力データを受け付けできないときに、Errorを表示します。

・周波数の入力途中では点滅し、入力完了とともに点灯します。

・数値キーの入力途中で、クリア/オールクリアキーを1度押したとき、訂正する桁が速い点滅となります。

88 CH : メモリーチャンネルを表示し、メモリー呼び出しのときに点灯します。また、パスメモリーしているチャンネルを呼び出したとき、CH表示の点滅となります。

SCAN : スキャンモードのときに点灯します。

SEARCH : サーチモードのときに点灯します。

FUNC : ファンクションキーを押すと点灯します。

S ■ : シグナルメーター。信号を受信したときに、その強度に応じて点灯します。

BUSY : スケルチが開いているときに点灯します。

PRI : プライオリティ機能がはたらいっているときに点灯します。

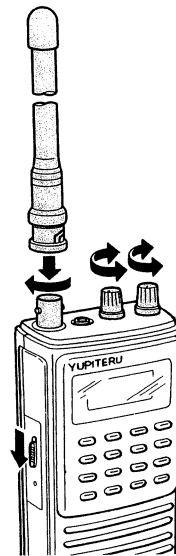
DELAY : ディレイ機能がはたらいっているときに点灯します。

BATT : 電池が消耗し、充電または乾電池の交換が必要なときに点灯します。

BEEP : キータッチ音ができるように設定されているときに点灯します。

25 50 100 : 選択されている周波数ステップを表示し、25、50、または100が点灯します。

P CH : プライオリティチャンネルを受信しているときや、呼び出したときに点灯します。



- 1** 付属のフレキシブルアンテナ（または市販のアンテナ）をアンテナ接続端子に差し込み、アンテナコネクターを時計方向に1/4回転させ固定させます。

注意 アンテナはコネクター部を持ち、しっかり取り付けてください。

- 2** キーロックスイッチをOFFにします。

- 3** スケルチ調整ツマミを左に回しきっておきます。

- 4** 電源/音量調節ツマミを右に回し電源を入れます。このとき、ディスプレイが表示します。

注意 電源スイッチを入れたときに、ディスプレイの表示内容を確認してください。ディスプレイにBATTが表示されたときには、充電または乾電池の交換をおこなってください。

- 5** 電源/音量調節ツマミをさらに回して、好みの音量に調節します。

注意 リセットスイッチを押したときなど、初期設定値が呼び出されたときの周波数表示は、108.000.0となります。

- 6** スピーカーから「ザー」という音がでているときは、ノイズが消える位置までスケルチ調整ツマミを右に回します。また、スピーカーから音声がでているときは、スケルチ調整ツマミを中程まで回します。

注意 無信号のときに「ザー」という音が消える位置まで調整すると、ディスプレイのBUSY表示が消えます。

注意 スケルチ調整ツマミを右に回しすぎると弱い電波が受信できなくなり、また、左に回しすぎると雑音などを受信してしまいますので、聞きたい電波の強さに合わせて調整してください。

周波数の入力

このキーを使います

周波数 →  ENTER

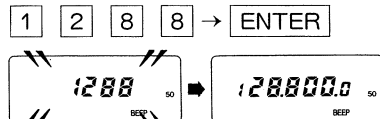
1 周波数の設定はマニュアルモード(ディスプレイに SEARCH、SCAN が表示されない状態)のとき受け付けられます。

 **サーチモードの解除**：ファンクションキー、サーチキーの順で押します。
スキャンモードの解除：スキャンキーを押します。

2 周波数を数値キーにより、100MHz の桁から順に入力します。

3 最後にエンターキーを押すと、受信周波数が点灯表示されます。

◀ 例 ▶ 128.8MHzを受信したい場合



ディスプレイの表示が、エンターキーを押すことで点滅から点灯に変わり、入力が完了します。

 本機の受信周波数範囲以外の周波数を入力すると、2秒間Error表示し、入力する前の受信周波数に戻ります。

表示の周波数ステップで登録することのできない周波数が入力されたときは、許容ステップの周波数に強制修正されます。
エンターおよびキーの入力は、最終キーを押してから10秒以内におこなってください。10秒以内に操作をしなければと操作前の周波数に復帰します。

入力周波数の訂正

このキーを使います

 または  C/AC

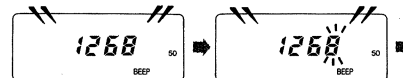
入力周波数を誤って入力したときは、エンターキーを押して始めからやり直るか、クリア/オールクリアキーを1度押し数値を訂正します。

 クリア/オールクリアキーを1度押した後、アップキー、ダウンキーを押しますと訂正桁のシフトができます。

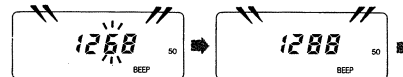
注意 エンターキーを押した後または、クリア/オールクリアキーを2度押した後では、入力周波数の桁訂正はできません。始めからやり直るか、アップキーまたはダウンキーで周波数をステップ移動して合わせてください。

◀ 例 ▶ 128.8MHz を入力するつもりが、誤って 126.8MHz を入力した場合

 C/AC →  ▲ →  8 →  ENTER

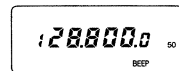


クリア/オールクリアを1度押す。



アップキーで訂正桁を指定する。

正しい数値を入力する。



エンターキーを押す。

周波数ステップの選択

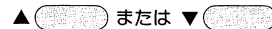
このキーを使います



マニュアルモードまたは、サーチモードのときに、ファンクションキーを押した後、25kHzステップキー、50kHzステップキー、または100kHzステップキーを押すことで、それぞれ25kHz、50kHz、100kHzステップが選択できます。周波数を入力するときには、あらかじめ希望のステップを選択しておきます。

1ステップ移動と早送り、早戻し

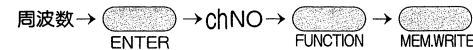
このキーを使います



マニュアルモードのとき、アップキーまたはダウンキーを押すと、周波数が1ステップアップまたはダウンします。また、1秒以上押し続けると、押されている間は受信周波数範囲を早送り、早戻しします。

チャンネルメモリーのしかた

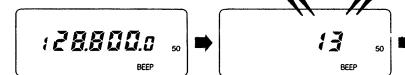
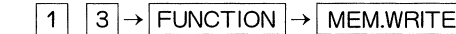
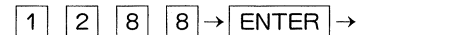
このキーを使います



本機のメモリーチャンネルは30チャンネル（1ch～30ch）あります。

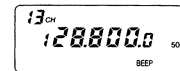
- 1 マニュアルモードまたは、メモリー呼び出し状態で目的局の周波数を入力します。（P.16参照）
- 2 希望のメモリーチャンネル（1ch～30ch）を数値キーで設定します。このとき、ディスプレイに表示されている数値が点滅します。
- 3 ファンクションキーを押します。
- 4 メモリーライトキーを押します。ピープ音が「ビッピッ」と鳴れば完了です。

◀ 例 ▶ 128.8MHzを13chにメモリーしたい場合



周波数の入力

メモリーチャンネル設定



登録完了

1秒後chNOの表示は消え、マニュアルモードとなります。

1ch～30ch以外のメモリーチャンネルが登録されたときには、Errorが表示されます。すでにメモリーされているチャンネルに、あとからメモリーすると、前のメモリーは消え、書き替えられます。

メモリーチャンネルの呼び出し

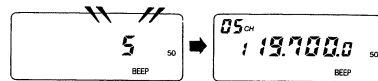
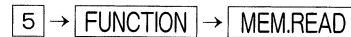
このキーを使います



- 1 マニュアルモードまたは、メモリー呼び出し状態にします。
- 2 数値キーで呼び出すチャンネルを設定します。このとき、ディスプレイに表示されている数値が点滅します。
- 3 ファンクションキーを押します。
- 4 メモリーリードキーを押します。

 チャンネルナンバーを設定せずに、ファンクションキー、メモリーリードキーを順に押したときは、それ以前に呼び出されていたチャンネル(ラストチャンネル)が呼び出されます。

◀ 例 ▶ 5chにメモリーされている受信局(119.7 MHzとします)を呼び出す場合



呼び出すメモリーチャンネルを設定

呼び出し完了

 1ch~30chまでメモリーされていないチャンネルも呼び出すこともできますが、このときの周波数は000.000.0が表示されます。

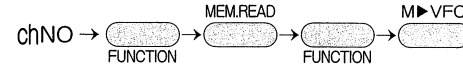
0または00chを呼び出したときは、プライオリティチャンネルの呼び出しになります。(P.27参照)

メモリー呼び出し中に、続けてファンクションキー、メモリーリードキーの順で押すと、メモリー呼び出し前に受信していたマニュアルモードの交信局を受信します。

メモリーチャンネルについて

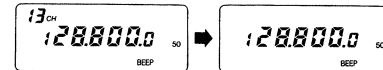
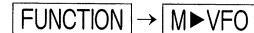
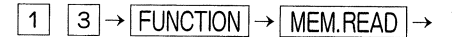
マニュアルモードへの移動

このキーを使います



- 1 希望のメモリーチャンネルを呼び出します。(P.20参照)
- 2 ファンクションキーを押します。
- 3 メモリーVFOキーを押すと操作は終了です。

◀ 例 ▶ 13chを呼び出し、メモリーされている128.8 MHzをマニュアルモードに移したい場合



メモリーチャンネルの呼び出し

マニュアルモードへ

メモリーチャンネルの消去

このキーを使います



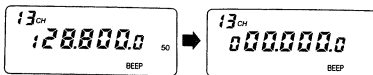
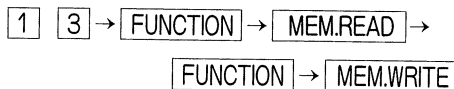
1 消去したいメモリーチャンネルを呼び出します。
(P.20参照)

2 ファンクションキーを押します。

3 メモリーライトキーを押すと操作は終了です。

呼び出したチャンネルが交信されているときにメモリーを消去すると、000.000.0の表示となりますが、次の操作がされるまで受信は継続されます。

◀ 例 ▶ 13chに登録されているメモリーを消去したい場合



メモリーチャンネルを呼び出す

メモリー消去

メモリーチャンネルについて

アップキーとダウンキーによるチャンネル送り

メモリー呼び出しの後、アップキーまたはダウンキーを押すと、1チャンネルのアップまたはダウンとなります。押し続けたときは、1ch~30ch間の早送りまたは早戻しとなります。



もう一度スキャンキーを押すと、スキャンが解除となります。

スキャンキーを押すことで、あらかじめ登録したメモリー局(1ch~30ch)をスキャンし、交信局があればそのチャンネルで停止し、受信となります。電波が切れば再びスキャンを開始し、次の交信局を探します。

メモリースキャンのしかた

メモリーしたチャンネル内をモニターする機能です。

このキーを使います



1 あらかじめスケルチ調整ツマミを回し、ノイズが出ないようにします。

2 スキャンキーを押します



メモリーされているチャンネルのみスキャンし、なにもメモリーされていないときは、スキャンモードに入りません。

また、メモリーされているチャンネルがすべてパスメモリーされているときには、スキャンモードに入りません。
(P.24参照)

スキャンの一時停止と方向指定

・一時停止

スキャンしているときに、アップキーまたはダウンキーを押しますと、スキャンが一時停止し、ディスプレイのチャンネルで通常2秒間(ディレイ時4秒間)の待ち受け受信となります。

また、その時間内に信号が入らないときには、再びスキャンを開始します。

・方向指定

スキャン停止中に、アップキーまたはダウンキーを押すと1ch送りとなり、その後は指定された方向へのスキャンとなります。

 チャンネルメモリーまたはパスメモリーによりスキャンできるチャンネルが1チャンネルだけのときには、スキャンモードにおいて、アップキーとダウンキーははたらきません。

パスメモリーのしかた

このキーを使います



メモリー呼び出しの後、またはスキャンモードで信号を受信しているときに、パスメモリーを設定すると、その後のスキャンモード中に、そのチャンネルを受信しないようにはたります。

1 パスしたいメモリーチャンネルを呼び出します。



注意

スキャンモードでの受信中は、メモリーチャンネルの呼び出し状態となっています。

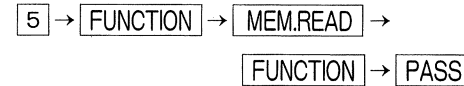
2 ファンクションキーを押します。

メモリーチャンネルについて

3 パスキーを押します。

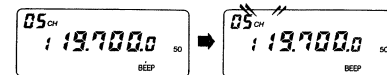
 メモリー呼び出しの後、再度ファンクションキー、パスキーの操作で、パスメモリーは解除されます。チャンネルメモリーされていないチャンネルでは、パスメモリーは受け付けません。

◀ 例 ▶ 5chにメモリーされている受信局をスキャンモードからパスしたい場合



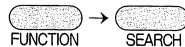
スキャン停止中にパスされたときは、パスメモリーした後、再びスキャンが開始され、次のチャンネルに移ります。

パスメモリーされているチャンネルは、メモリー呼び出しのときch表示が点滅します。



サーチのしかた

このキーを使います



周波数がわからないときなど、本機の受信周波数範囲内で自動的に交信局を探す機能です。

- 1 スケルチ調整ツマミを回して、ノイズが出ないようにします。
- 2 あらかじめ、周波数ステップを選択します。(P.18参照)
- 3 ファンクションキーを押します。
- 4 サーチキーを押しますと、自動的に選局を開始します。

🔧 サーチ中に再度ファンクションキー、サーチキーの順で押すとサーチモードは解除します。

注意

サーチで受信した周波数をメモリー登録するときには、サーチモードを解除した後、チャンネルメモリーの操作をおこなってください。

◀ 例 ▶ 100kHzステップでサーチしたい場合

FUNCTION → STEP100 → FUNCTION → SEARCH

ファンクションキー、サーチキーの順で押すと、表示されている周波数から本機の受信周波数範囲内を指定の周波数ステップで移動し、交信局を探します。電波が入ればそこで受信となり、電波が切れると再びサーチが開始され、次の交信局を探します。

サーチの一時停止と方向指定

・一時停止

サーチ中にアップキーまたはダウンキーを押すと、サーチが一時停止し、ディスプレイの周波数で通常2秒間（ディレイ時4秒間）の待ち受け受信となります。またその時間内に信号が入らなかったときは再びサーチを開始します。

・方向指定

サーチ停止中にアップキーまたはダウンキーを押すと、周波数の1ステップ送りとなり、その後は指定された方向へのサーチとなります。

プライオリティチャンネルの周波数登録

あらかじめ登録されたチャンネルが最優先チャンネルとしてはたらき、スキャン、サーチ、メモリー呼び出し受信、マニュアル受信のいずれにおいても5秒おきにモニターする機能です。（プライオリティ受信のときには、ディスプレイにPCHを表示します。）

このキーを使います



- 1 マニュアルモードで、優先したい受信周波数を入力します。(P.16参照)
- 2 ファンクションキーを押します。
- 3 プライオリティキーを押します。
- 4 エンターキーを押しますと、ピープ音が「ビッピッ」と鳴り操作終了です。

◀ 例 ▶ 126MHzをプライオリティチャンネルとしたい場合

1 2 6 → ENTER → FUNCTION
→ PRIORITY → ENTER

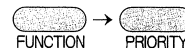
注意

プライオリティチャンネルの登録は、プライオリティ機能がはたらいっていない(ディスプレイにPRIの表示がされていない)状態からおこなってください。

🔧 プライオリティチャンネルの初期設定値は、108.000.0MHzとなっています。
プライオリティチャンネルのメモリー内容の確認は、0chまたは00chメモリー呼び出しでできます。

プライオリティ機能の設定と解除

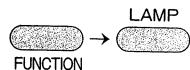
このキーを使います



- 1 受信しているときにファンクションキーを押します。
プライオリティキーを押すと、プライオリティ機能がはたらきます。また、プライオリティ機能がはたらいいているときには、ディスプレイにPRIを表示します。プライオリティ機能は、再度ファンクションキー、プライオリティキーの順で押すと解除できます。
- 2

バックライト機能

このキーを使います



1 ファンクションキーを押します。

2 ランプキーを押すと、バックライトが点灯します。
ランプの点灯時間は、5秒以内に続けて操作した最終キー入力後、5秒間に設定されています。

注意 バックライト機能は、数値キー入力途中（点滅状態）でははたらきません。

ディレイ機能

本機のスキャン、サーチ動作では、電波が切れると次の受信へと進んでいきますが、次の受信に移るまでに時間をもたせています。この時間は、通常2秒間に設定されていますが、ディレイ機能がはたらいているときには4秒間となります。

このキーを使います



1 ファンクションキーを押します。

2 ディレイキーを押すと、ディレイ機能がはたらきます。

注意 再度ファンクションキー、ディレイキーの順で押すとディレイ機能は解除されます。

その他の機能

注意

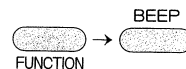
ディレイ機能は数値キーの入力途中（点滅状態）では切り替えできません。



ディレイ機能がはたらいているときには、ディスプレイにDELAYを表示します。

ビーブ音の消去

このキーを使います



1 ファンクションキーを押します。

2 ビーブキーを押すと、ビーブ音が消去されます。



再度ファンクションキー、ビーブキーの順で押すと、キータッチ音が復帰します。

注意

ビーブ音の消去は、数値キーの入力途中（点滅状態）やサーチモード、スキャンモード中は設定できません。



ビーブ音が鳴るように設定されているときは、ディスプレイにBEEPが表示されます。



本機は操作が確実におこなわれたかどうかをビーブ音でお知らせします。

ビーブ音の種類は次のようなものがあります。

- ・数値キー、単独キーの受け付け……………「ピッ」
- ・登録完了（メモリー登録、メモリー消去）……………「ピッピッ」
- ……………「ピッピッ」
- ・エラー……………「ピッポッポッ」

1 保証書

保証書は、必ず「販売店名・購入年月日」等の記入をお確かめのうえ販売店からお受け取りいただき、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

2 保証期間

お買い上げの日から1年間です。

3 修理を依頼されるとき

・保証期間中のとき
恐れ入りますが、お買い求めの販売店で保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定にしたがって修理いたします。

・保証期間が過ぎているとき
お買い求めの販売店にまずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

4 アフターサービス等についてご不明の点は

お買い求めの販売店、または最寄りの「お客様ご相談窓口」(添付の一覧表をご参照願います。)にお問い合わせください。

受信周波数

108.00~142.00MHz

周波数ステップ

25/50/100kHz

受信電波型式

AM

受信感度

0.5 μ V以下(S/N 10dB)

チャンネルメモリー数

30チャンネル

スキャン/サーチスピード

1秒間に約20チャンネル/20ステップ

アンテナインピーダンス

50 Ω

電源

3.6V単3形ニッケルカドミウム電池3本

12V(外部電源、充電兼用)

スピーカー最大出力

60mW(8 Ω)

消費電流

最大出力時 95mA(標準)

待ち受け時 45mA(標準)

動作保証温度範囲

0 $^{\circ}$ C~50 $^{\circ}$ C

外形寸法

57.2(W) $\times$ 127.5(H) $\times$ 35.5(D)mm(突起部含まず)

重量

207g(アンテナ含まず)

付属品

- ・フレキシブルアンテナ (1)
- ・ACアダプター (1)
- ・カーコネクター (1)
- ・ニッケルカドミウム電池<内蔵> (3)
- ・ハンドストラップ (1)
- ・イヤホン (1)
- ・取扱説明書 (1)
- ・保証書 (1)
- ・お客様ご相談窓口一覧 (1)
- ・ご愛用者カード (1)